



安積山

郡山市立日和田小学校

学校便り No.30

令和3年8月31日

文責：校長 伊藤 孝行

入校前手指消毒は万全にできています。

2学期はじめより開始した校舎に入る前の手指消毒はスムーズに進んでいます。



子どもたちも現在の状況については十分理解しているため、新しい方法を取り入れても問題なく進むことが証明され嬉しく思いました。

以前にも述べたことの繰り返しになりますが、今取り組んでいることをマンネリ化させずに精度を高めることが大切だと思っています。

防災の日及び防災週間について

明日9月1日は「防災の日」で、8月30日から9月5日までは「防災週間」です。



9月1日が「防災の日」に制定されたのは、今から61年前の1960年です。なぜこの日が、防災の日となったのかというと、今から98年前の1923年の「関東大震災」の教訓を後世に伝えるためです。

関東大震災では、地震とその後の火災によって、10万人以上の人々が亡くなり、30万の家が地震により壊れたり焼けたりしました。

また、この頃は「二百十日」とも呼ばれ、台風が接近したり強い風が吹いて稲が倒されたりする危険が多い頃とされています。

50年に一度の大雨とか、今まで経験のない豪雨ということが日本各地で起こっています。

ハザードマップの確認や非常持ち出し袋の準備等できることはたくさんあります。

教育実習がはじまりました。



8月30日～9月28日までの4週間の教育実習を行うのが、箭内紗英花さん(写真左端)です。

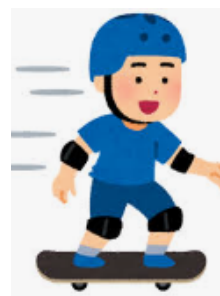
8月31日～9月4日までの教育実習を行うのは、ポラリス看護学院の續橋唯織さん(写真中央)、菊田優華さん(写真右端)です。

箭内さんと續橋さんは、日和田小学校の卒業生で母校での教育実習となります。

教育実習の受け入れに当たっては、大学や関係機関と協議し、事前の健康観察や毎日の検温を実施し、子どもたちの感染への心配がないことを確認しております。

子どもたちはお姉さん先生の登場に大喜びで、休み時間は一緒に遊ぶ楽しみが増えました。

道路での危険な遊び方に注意しましょう。



夏休み中に、学区内を通行する車の運転手さんから、キックボードやスケートボードで遊んでいる子どもたちが「とても危険だ!」というお叱りの電話をいただきました。その内容は、下り坂を猛スピードで走り抜けたり、一旦停止を無視したりということでした。キックボードやスケートボードは、車から見えにくいので、発見が遅れ事故につながります。ルールを守り十分注意して危険のない遊び方をさせたいものです。